

パブリックサービス・インターンシップ科目について

担当：中曽根玲子

1. パブリックサービス・インターンシップの意義

➡ 民間企業のオープンカンパニーとの違い

- ・公務員の仕事を知り、職業としての将来像をより具体的にイメージできること
- ・公務員として働く人たちの職業意識を知ることができること
- ・自分の適性に合っているかを確認できること
- ・社会との接点を自覚し、公務員試験に向けての学修（科目修得や正課外の活動など）の動機付けになること

【アドバイス1】 将来の行政官として基礎法律学Ⅰ（憲法、行政法 A・B）、行政学 A・B、公共政策等を履修していることが望ましい！

2. パブリックサービス・インターンシップ科目

- ・PCAP パブリックサービスキャリア・コース登録学生のための選択科目（2・3年生）

【アドバイス2】 2年次末には、3年次進級試験があるので、登録継続要件を充たせるように計画的に学修しよう！

- ・本科目の単位は、正課授業として要卒単位に含まれる（1単位 or 2単位）
- ・履修登録手続きは、インターンシップ実習後に行う
 - ※ 履修登録（単位申請）前であっても、インターンシップの応募時の相談から専任教員のサポートを受けることは可能

3. 実習先と実習日数の条件

1) 実習先についての条件

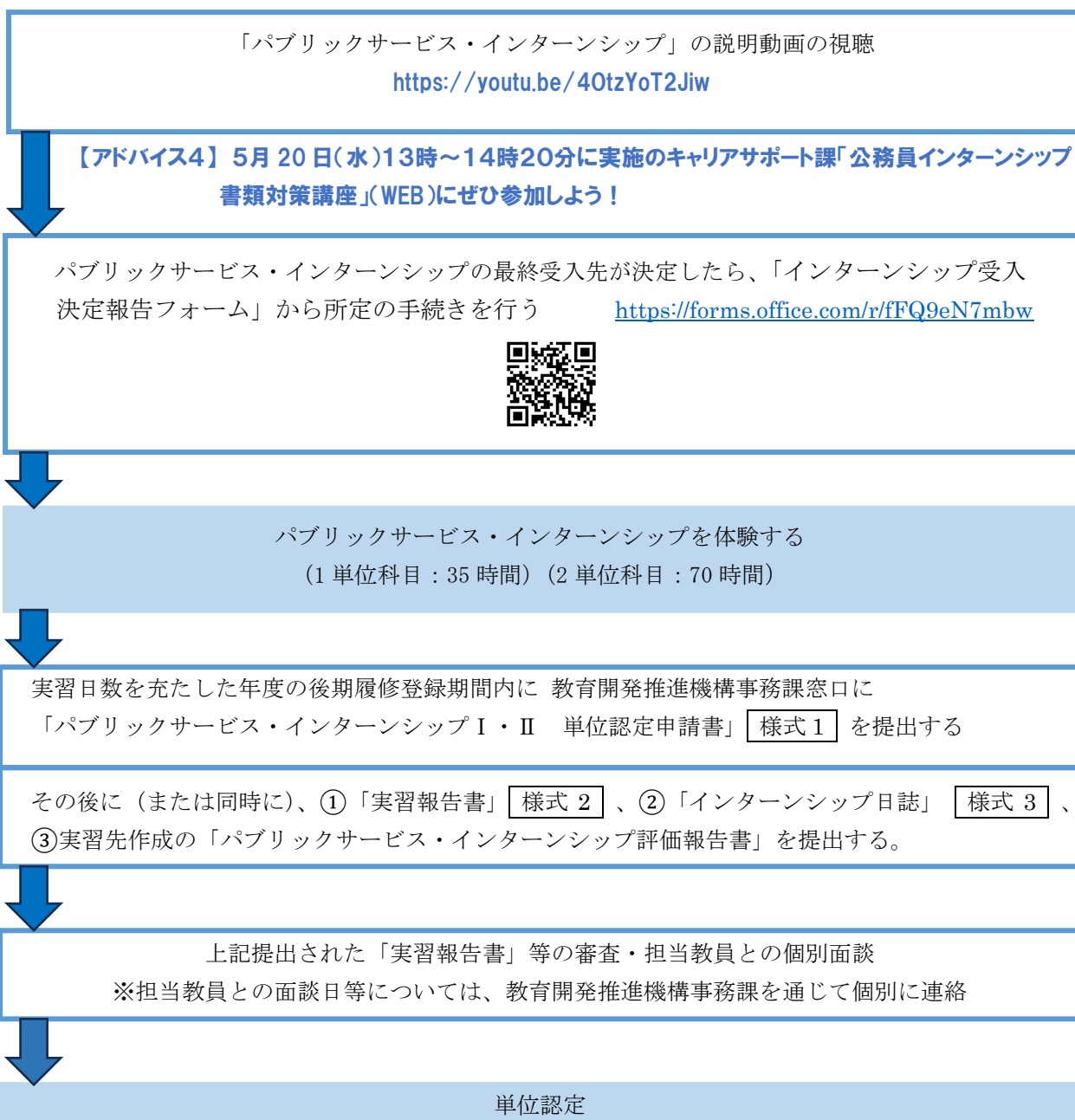
- ①学部学科の正課授業として単位認定されるインターンシップと重複できないこと
- ②**実施主体**が官公庁及び地方自治体のインターンシップであること
- ③インターンシップの内容が、**行政職等**として経験するものであること
 - ※ 実施先・場所が、実施主体の組織内であること

2) 実習日数と単位

- ◆1 単位科目（パブリックサービス・インターンシップⅠ）の場合
 - 実習年度の後期履修登録前**までに1週間（5日）以上 = **35時間**の就業体験
- ◆2 単位科目（パブリックサービス・インターンシップⅡ）の場合
 - 原則：**実習年度の後期履修登録前**までに2週間（10日）以上 = **70時間**（1日7時間換算）の就業体験
 - 例外：2箇所の就業体験を合計して10日以上（この場合は学年を跨いでも構わない）

【アドバイス3】 春期のパブリックサービス・インターンシップの応募先は少ないので、注意しよう！

4. 単位修得までの流れ



【アドバイス5】4月8日(水)に実施の「今から始める公務員対策ガイダンス」(2年～3年)をはじめ、3月26日からは「重要ポイント解説講座」(2年～4年)等のさまざまな講座や企画、また年間を通じて公務員志望専用個別面談(4月10日～)が行われているので、どんどん利用しよう！

5. 問い合わせ先

渋谷キャンパス 教育開発推進機構事務課（百周年記念館 1 階）
 月～金 10:00～18:00（12:50～13:50 閉室）、土曜閉室
 電話番号 03-5466-6744